

第3学年国語科学習指導案

児童 男子6名 女子12名 計18名
指導者 佐藤 淑子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」(説明文)
「食べ物はかせになろう／本で調べる」

2 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期に「ありの行列」で、接続語や指示語、時間の経過を表す言葉に気をつけながら、中心文を見つけたり、段落ごとにどのようなことが書いてあるのかを考えたりする学習をしてきた。しかし、個人差が大きく、自力で中心文を見つけたり、指示語が指し示す内容を的確にとらえたりすることには、まだまだ指導が必要である。また、自分の考えを書いたり話したりすることに抵抗を感じている児童が多い。

大豆に関する意識調査をした結果、「大豆を食べたことがありますか。」という問いに対しては、あるが14人、ないが1人、わからないが3人という結果だった。また、「大豆が使われている食品で知っているものを教えてください。」という問いに対しては14名が何らかの食品を答え、4名がわからないという回答だった。回答数の多かった食品は、豆腐(13名)納豆(12名)しょうゆ(5名)だった。大豆は児童にとって身近な食品である一方、姿を変えた加工食品を全く知らない児童もいるので、興味をもたせられるよう手立てを組んでいきたい。

(2) 単元および教材について

本単元「大事なことをたしかめよう」は複合単元である。教材文「すがたをかえる大豆」では、段落構成や重要語句等に気をつけながら、要点を読み取り、「食べ物はかせになろう」では、教材文の内容を参考にして自分で調べる事柄を選び、それに関する情報を集め、文章にまとめることをねらいとしている。

教材文「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。また、豆腐作りを目指し、学級園で大豆を栽培していることから、意欲的に学習できると考えられる。その一方で、豆腐同様に、見た目だけでは大豆からできているとは思われないものも多く、児童にとっては意外性もある。また、説明文教材としては、段落構成や重要語句等が明確で、要約などの学習にも適しており、書く活動を進める上でも参考例となる。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、学級園で育てている大豆の成長を思い浮かべ、すがたをかえていくことを想像させながら、学習を進めたい。教材文を読み取る段階では、段落構成や重要語句に気をつけながら、中心文を見つけさせていく。その際、接続語に着目させ、段落相互の関係をつかませていきたい。また、実際に文章を書いていく際、段落と段落をつなぐ接続語を意識して使えるよう指導していきたい。

仮説に関わっては、仮説①「課題を明確にする工夫」として、単元全体のゴールを食べ物はかせになって、自分が調べたことを本にまとめることを知らせ、意識させ、学習の見通しをしっかりと

もたせていきたい。

仮説②「自分で読み進める工夫」では、重要語句をおさえ、中心文を見つけ出させたい。また、自信を持って活動できるよう、全体で方法を学び、一人学びに取り組みさせていきたい。また、本作りの活動では、段階を踏みながら、取り組ませていきたい。

仮説③「言語能力を高める工夫」では、接続語に着目させ、段落の役割を理解できるようにしていきたい。また、本作りをする際の文章で接続語を意識して使えるよう指導していきたい。

3 単元の目標

[目標]

- ◎ 中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
- 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
- 本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。

[国語への関心・意欲・態度]

- ・ いろいろな読み物に興味をもって読もうとしている。

[書くこと]

- ・ 調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりする。(書くことイ)
- ・ 書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書く。(書くことエ)

[読むこと]

- ・ 段落相互の内容を考えながら、文章の内容を的確に理解する。(読むことイ)
- ・ 内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら読む。(読むことオ)

[言語についての知識・理解・技能]

- ・ 文章全体における段落の役割を理解する。(言語オ(イ))

4 指導計画と評価規準 (17時間 本時4 / 17)

次	時	学習活動	関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	言語事項
一次	1	○畑の大豆の写真を見て成長を振り返る。 ○全文を読み、初発の感想を書く。 ○新出漢字や読みかえ漢字を確かめる。	興味をもって教材文を通読している。(観察)			新出漢字や読みかえ漢字を読んでいる。(観察)
	2	○文章の内容を大きくつかみ、はじめ・中・終わりに分ける。 ○学習計画を立てる。	進んではじめ・中・終わりに分けようとしている。(観察)		はじめ・中・終わりの大きなまとまりをつかんでいる。(ワークシート)	「このように」の働きがわかる。(ワークシート)
二次	3	○話題提示段落を読み、大豆の特徴について読み取る。(はじめ)	大豆について興味をもち、その特徴を読み取ろうとしている。(観察)		筆者がどのような話題を提示しているのかを読み取っている。(観察・ワークシート)	問いかけの文を見つけることができる。(観察・ワークシート)

	4 本 時	○大豆をおいしく食べる工夫を読み取る。(中)	大豆をおいしく食べるための工夫に興味をもち、進んで学習に取り組もうとしている。(観察)		大豆をおいしく食べるための工夫を読み取っている。(観察・ワークシート)	
	5	○大豆に手を加える時の言葉を書き出し、意味を確認する。	進んで言葉の意味を確認しようとしている。(観察)			
	6	○多くの食べ方が考えられたわけを読み取る。(終わり)	多くの食べ方が考えられたわけを読み取ろうとしている。(観察)		多くの食べ方が考えられたわけを読み取っている。(観察・ワークシート)	わけの書き方の特徴(～から)を見つけられる。(観察・ワークシート)
	7	○それぞれの段落の小見出しを考え、文章全体の構成を確認する。	文章の構成に興味をもち、進んで小見出しを考えようとしている。(観察)		それぞれの段落の小見出しを考えている。(観察・ワークシート)	
三 次	8	○「食べ物はかせになるう」を読み、学習の見通しを持つ。	全文を読み、学習の見通しをもとうとしている。(観察)			
	9	○調べたいことを決め、学習の計画を立てる。	調べたいことを決め、学習計画を立てようとしている。(観察)			
	10 11 12	○本で、調べたい食べ物についての情報を収集し、カードに書く。	進んで調べようとしている。(観察)	本で情報を収集し、必要な事柄をカードに書いている。(カード)		
	13	○カードをもとに情報を整理する。	進んで必要な事柄を選択したり、まとまりに分けたりしている。(観察)	必要な事柄を選択している。(カード・観察)		段落のもつ役割を理解し、段落構成を考えている。(カード)

14 15 16	○カードのまとめごと に文章を書き、本を作 る。	調べたことを 文章にまとめ ようとしている。 (観察)	調べた事柄ご とに、段落の 役割を意識し ながら書いて いる。(ノー ト・観察)		一字下がりに 気をつけて書 いている。 文脈に沿って 接続語を使っ ている。(ノー ト)
17	○書いたものを読み合い、 よさを交流しあう。	友達の作品を 読み、よさを 見つけようと している。(観 察)	友達の作品を 読み、文章の 構成の工夫に 気づいてい る。(観察)		

5 本時の指導

(1) 目標

大豆をおいしく食べる工夫について、読み取ることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足でき る	C 努力を要する児童 への手立て
大豆をおいしく食べる 工夫について、一つ一つ の段落を正しく読み取 っている。	大豆をおいしく食べる ための工夫を、読み取っ ている。また、国分さん の書き方の工夫に気づ いている。	「くふう」という言葉 を見つけ、大豆をおいしく 食べる工夫を読み取っ ている。	「くふう」という言葉に 着目させ、その直前にく ふうが書かれているこ とに気づかせる。

(3) 展開 (4/17)

段 階	学習活動	支援・留意点 (・) 評価 (*)
つ か む	1. 前時までの学習の想起	<ul style="list-style-type: none"> 大豆博士になる条件を確認し、読みの目的意識をもたせる。 前時で学習した大豆の特徴を確認する。 前時で学習した国分さんの書き方の工夫を確認する。
5 分	2. 学習課題の確認 大豆をおいしく食べるためにどんなくふう をしているのだろう。 ①大豆がどんな食品にすがたをかえているの か確認する。 ②読みの視点を確認する。 ・「くふう」	

<p>ふかめる</p> <p>30分</p>	<p>3. 学習場面の音読</p> <p>①3～7段落の音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人読み ・指名読み <p>4. 学習課題の解決</p> <p>①3・4段落を全体で読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くふう」という言葉を見つけ、丸印をつける。 ・どことなくふうかわかる文（中心文）にサイドラインを引く。 <p>3：大豆をその形のまま、いったり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふう ⇒豆まきにつかう豆、に豆</p> <p>4：こなにひいて食べるくふう ⇒きなこ</p> <p>②5～7段落を自力解決する。</p> <p>5：大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう ⇒とうふ</p> <p>6：目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう ⇒なっとう、みそ、しょうゆ</p> <p>7：とり入れる時期や育て方をくふう ⇒えだ豆、もやし</p> <p>④読み取ったことを全体で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みの視点を考えながら、はっきりと音読させる。 ・全員で一緒に考えながら解決していく。 ・一人学びの行い方を確認する。 ・写真を見ながら、確認する。 ・サイドラインを引いた部分を短くしながら、全員でワークシートに書く。 ・接続語が段落の冒頭にあることを確認し、ワークシートに書く。 ・自力解決が進まない児童には、「くふう」という言葉の前後に着目させる。また、「くふう」によってできる食品について、考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*おいしく食べるための工夫を読み取っているか。</p> </div>
<p>まとめる</p> <p>10分</p>	<p>5. 学習の振り返り</p> <p>①国分さんの書き方の工夫に気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの段落に一つの工夫が書かれている。 ・つなぎ言葉でつながっている。 <p>②自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの自己評価欄に印をつける。 <p>③まとめの音読をする。</p> <p>6. 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語に着目させ、段落のつながりを確認させる。 ・学習したことを意識しながら、音読する。 ・大豆にどのように手を加えているのかを学習することを知らせる。

6 板書計画

	⑦	⑥	⑤	④	③	段落
<ul style="list-style-type: none"> ・一つの段落に一つのくふう ・つなぎ言葉で段落をつなぐ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">これらのほかにも</div> とり入れる時期や育て方をくふう	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">さらに</div> 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">また</div> 大豆にふくまれる大切なえいようだけをとり出して、ちがう食品にするくふう	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">次に</div> こなにひいて食べるくふう	その形のままいたり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふう	おいしく食べるためのくふう
	えだ豆 もやし	なつとう みそ しょうゆ	とうふ	きなこ	豆まきの豆 に豆	食品
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真</div>	

すがたをかえる大豆

大豆をおいしく食べるために
 どんなくふうをしているのだろう。

国分牧衛